

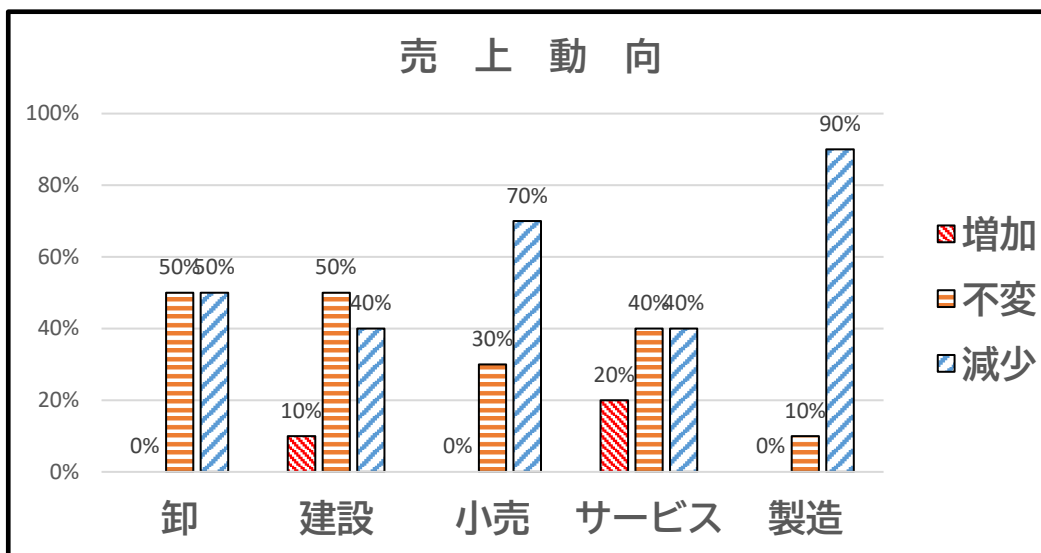
余市商工会議所 企業景況調査（2020下半年）

【調査内容】今年に入りどのように推移しているのか①売上動向、②販売価格、③仕入価格、④客数、⑤客単価、⑥利益動向、⑦雇用状況、⑧景況感、⑨見通し（10～3月）について調査を実施した。

（調査対象は卸・建設・小売・サービス・製造の5業種で全50社）2021.3調査

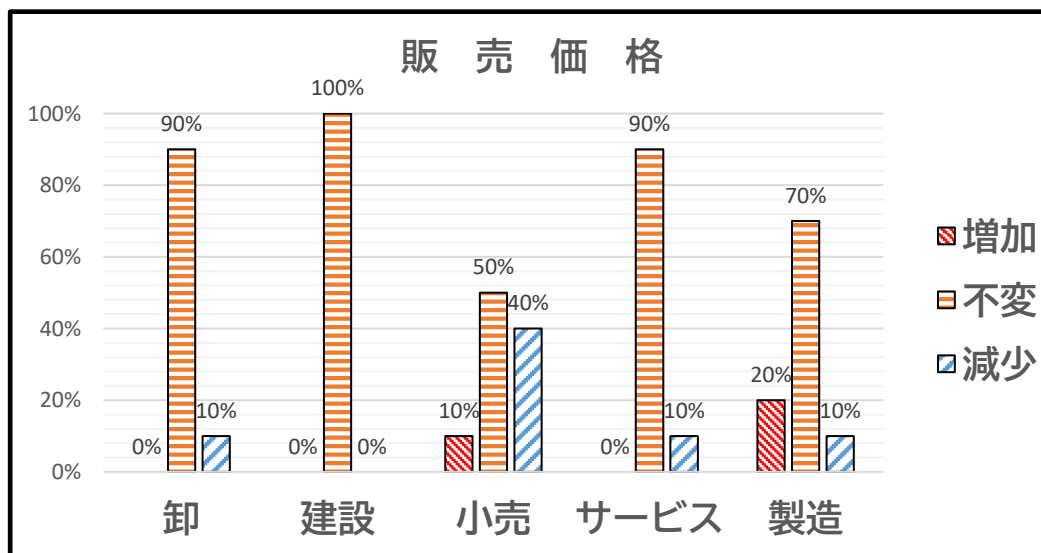
①売上動向について

売上動向については、小売で7割、製造で9割の事業所が減少していると回答。増加している事業所は建設・サービス業の一部に留まり、全業種で不変および減少との回答が8割以上に上った。



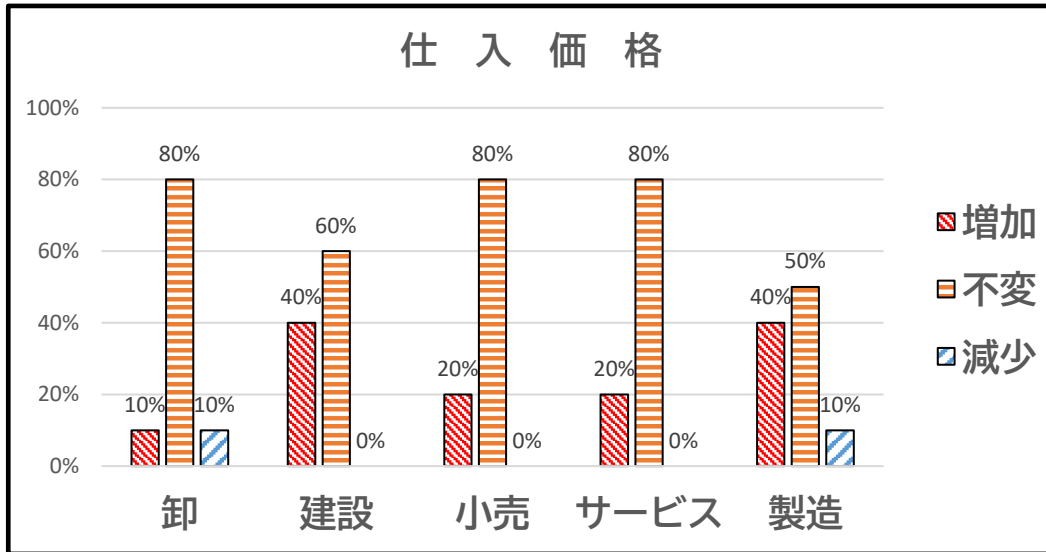
②販売価格について

販売価格については、上半期の調査とほぼ変わらず全業種で不変の回答が最も多かった。後述の通り一部業種で仕入価格の上昇がみられるものの、販売価格へ転嫁していない事業所が多い。



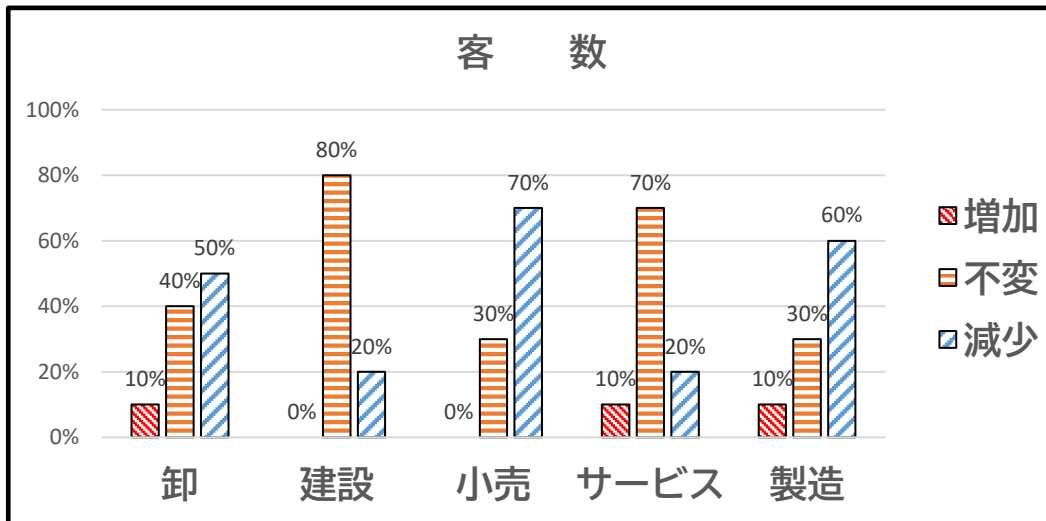
③仕入価格について

仕入価格については、不変との回答が最も多く、上半期調査と比べ減少したとの回答は更に少なくなった。建設業・製造業においては原材料等の影響もあり、一部で仕入価格の増加が続いている。



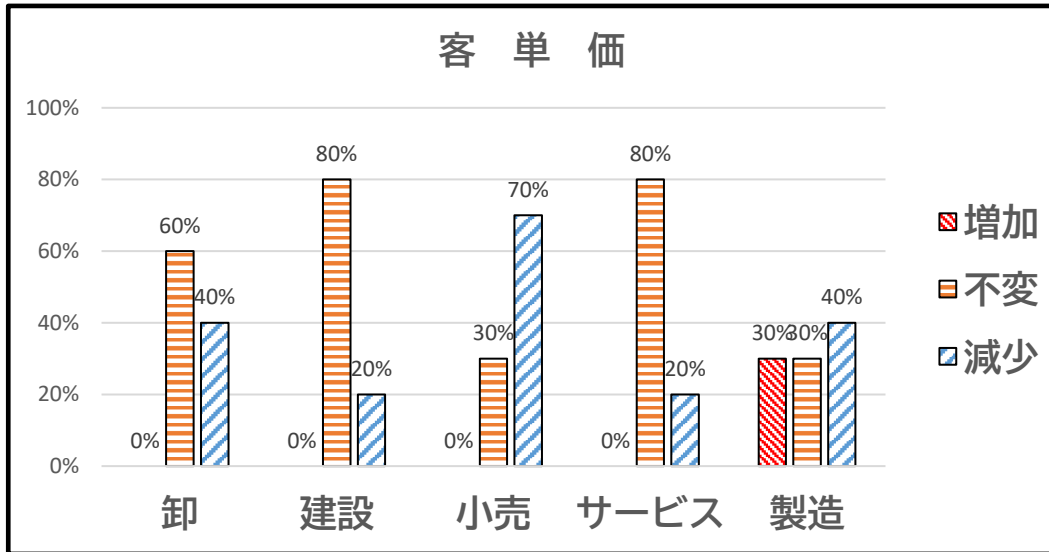
④客数について

客数については、上半期調査と比べ減少に歯止めがかかりつつあるものの、小売（飲食含む）での影響は続いており、減少との回答が7割を占めた。



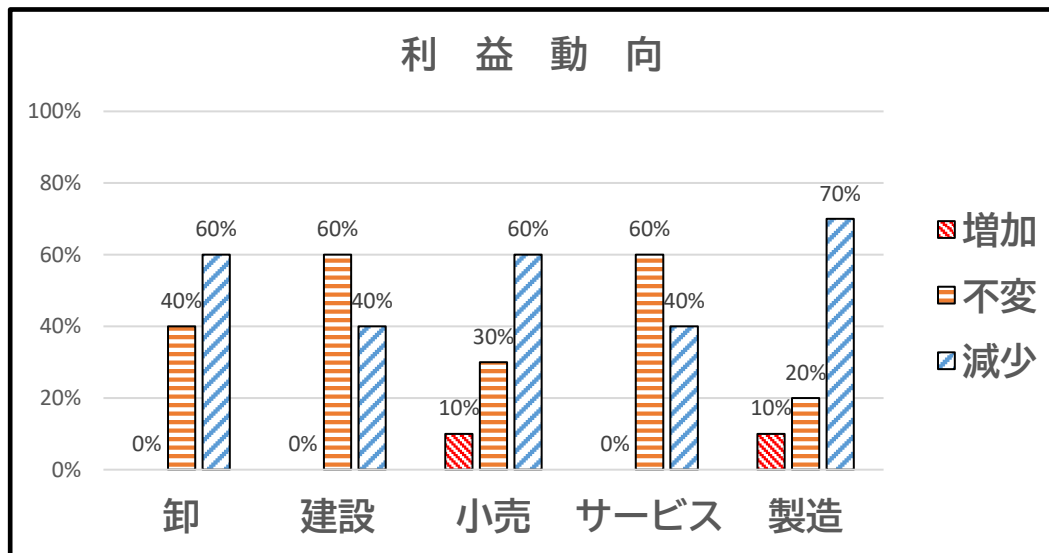
④客単価について

客単価については不変との回答が最も多いものの、小売業においては減少との回答が7割に上った。飲食店をはじめ、対面販売を行う事業者への影響は未だ続いている。



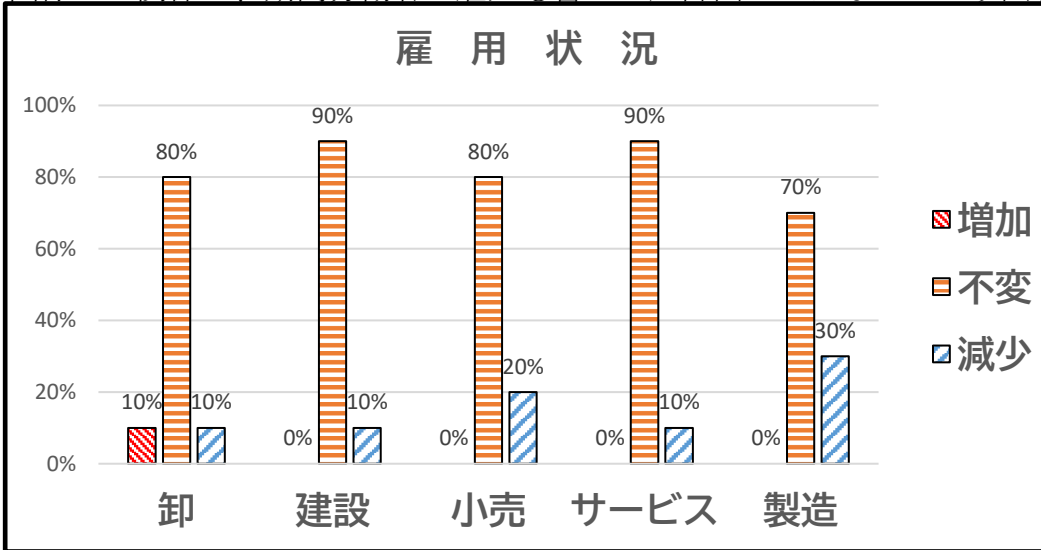
⑤利益動向について

利益動向については、卸・小売・製造では減少が続いているものの、上半期調査と比べ減少と回答した割合は少なくなり、徐々にではあるが底が見えてきている。



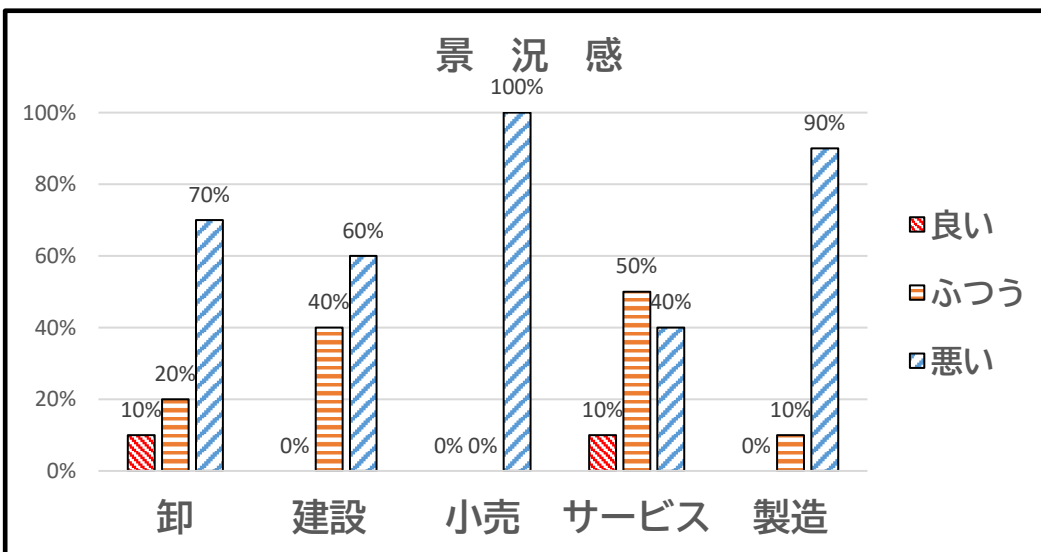
⑥雇用状況について

雇用状況については、全業種とも不変の回答が最も多く、雇用は今のところ維持されているといった状況である。しかし、小売・製造業で減少との回答が3割近くあり、特に製造業では、原材料供給の問題や外国人研修生の出入国停止の関係で、期間労働者の雇入も含め生産計画が立たないという回答も



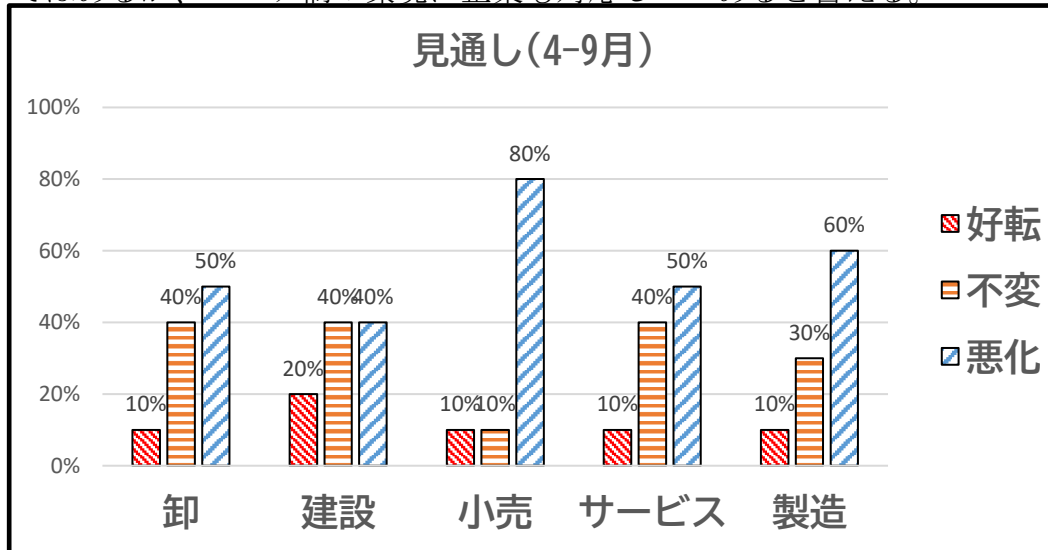
⑦景況感について

景況感については前回調査に続き「悪い」と回答する事業所が最も多かった。ただ、建設業やサービス業では「ふつう」と回答する事業所が4割～5割ほどみられ、一部業種では持ち直しの傾向も出てきている。



⑧見通し(4-9月) について

見通しについては、持ち直しの傾向がみられる建設業を除くすべての業種で「悪化する」との回答が最も多く、先行きの不安感は未だ拭えない状況にある。一方で、「好転」「不変」の回答は前回調査よりも増えており、徐々にではあるが、コロナ禍の環境に企業も対応しつつあると言える。



経営動向調査にご協力頂きありがとうございました。

当会議所としても、新型コロナウイルスで影響を受けている事業所の皆様のお力になればと、引き続き、各種セミナー・講習会の開催、情報提供等行ってまいりますので、ぜひご活用ください。